

## 四ツ又山&鹿岳山行報告

【山行日】2021年4月24(土) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 3,100円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:関 安西、石澤、  
嶋田、島田、廣瀬、福島、藤原

【コースタイム】岩舟支所P6:00=鹿岳登山口

P7:20/7:40~大久保登山口 7:55~天狗峠 8:40

~四ツ又山 9:10/9:20~マメガタ峠 10:10/10:20

~鞍部 11:00/11:10~一ノ岳 11:25/11:35~鞍

部 11:50/12:30~二ノ岳 12:50/13:00~鞍部

13:20~鹿岳登山口P14:00/14:10=道の駅「しもにた」14:35/14:50=岩舟支所P16:05

今週もアカヤシオの花を求めての山行だったが、今年はアカヤシオの開花が早く4月10日頃が見頃だったようだ。岩舟支所を6時に出発し、北関東道から上信越道を進み下仁田ICで降りる。



国道254号線を西に進み、道の駅「しもにた」でトイレを済ませ鹿岳登山口駐車場に着く。

駐車場は2段になっていて、上下合わせて20台は止められ、簡易トイレが1つあるが汚れているようだ。準備を整えてストレッチを済ませ、

道路を右に10分程下り大久保の集落で左折し四ツ又山登山口に着く。ここから沢沿いの道を進み、ワラビ畑を過ぎると本格的な登山道を登るようになる。杉林の道を登って行くとマメガ

タ峠への分岐となり、右に進んで大天狗峠に

向かう。大天狗峠に出ると野々上集落からの登山道と合流し、四ツ又山へは左に急坂を登るよう

になる。峠からは明るい自然林の道になり、新緑

の中に紫色のトウゴクミツバツツジが鮮やか

だった。立ち木に掴まりながらの急登が続くが、

新緑やミツバツツジに励まされ一気に200m

の高度を稼ぐ。マメガタ峠への道を右に分け、

ほんの少し登ると四ツ又山主峰の頂上に着く。

神宮像が立ち信仰の山だと分かるが、山頂から

の鹿岳の展望が素晴らしい。アカヤシオの花は終わってしまったが、トウゴクミツバツツジの花が歓迎してくれる。展望や花を楽しみながら休憩し、キーウイフルーツや菓子をいただく。ここからさらに展望が良い2峰に登り3峰を超え、4峰を過ぎると左に急降下する。



ロープや木に掴まりながら慎重に下り、傾斜が緩くなるとマメガタ峠に着く。

休憩してデコポンや菓子をいただき、水分を補給する。峠から直進し、杉林の中を直登して鹿岳に



向かう。ピークを越え一ノ岳基部の岩場を進むが、ロープやハンゴを伝って登って行く。足場が悪く段差が大きいので女性達は苦勞している。コルに出る直前でAさんの足が攣り、休憩してツムラの68番を飲む。コルまで登って一ノ岳に向かうと又攣ってしまった。我輩とAさんはコルで待つことにし、他の皆さんは一ノ岳をピストンで登る。皆さんが戻る時間を見計らってうどんを作り、戻ってきたらコルで昼食を食べる。昼食が済んだら皆さんは二ノ岳に向かい、我輩とAさんは

コルで待つ。二ノ岳への登りは岩場をハンゴやロープで登り、尾根に出たら明瞭な踏み跡をたどれば山頂へ導いてくれる。頂上から少し南に下がった岩場からの展望が素晴らしい。一ノ岳・二ノ岳を登頂し、360度の大大パノラマを堪能でき、皆さんが笑顔でコルに戻って来た。

当初の計画では二ノ岳から木々岩峠に下る予定だったが、コルから直接下高原に下ることにする。

コルからの降り口も急な岩場で、クサリにつかまりながら慎重に下る。岩場を過ぎるとザレた急坂が続き、落石を起こさぬように慎重に下る。20分程下ると杉林の中を下るようになり、緊張から解き放される。杉林の中を九十九折れに下り、途中からは沢沿いの道を下って行く。急降下に疲れた様子なので最後の休憩を取り、デコポンや菓子を食べて疲れた足を休める。



ここから10分程下ると民家の脇を通り、駐車場への道路に出る。道路を左に進むと直ぐに

駐車場に着き、靴を履き替えたらず路につく。朝寄った道の駅「しもにた」に寄り、トイレを済ませて買い物し岩舟支所に向かう。

上信越道と北関東道は順調に走り、予定よりも1時間早く岩舟支所に帰着した。